

# 茅広江さとだより

茅広江住民自治協議会  
会長 若山 学  
令和4年6月発行

## 「茅広江さとだより」発行にあたって

「茅広江さとだより」発行にあたって、一言ご挨拶申し上げます。平素は茅広江住民自治協議会の活動に対し、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。令和4年度の住民自治協議会は、通常総会が無事終了し、各専門部会を中心とした諸活動も本格化してまいりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で協議会の活動も大きく制約され、体育祭、ふれあいまつり等の大規模イベントはことごとく中止を余儀なくされております。しかしようやく感染者数も落ち着きつつあり、いろいろ工夫をしながら、諸活動の開催頻度も徐々に増やせる状況になってきております。今後も無理な活動は控えながら、予防対策を万全にして活動を行いたいと考えておりますので、ご理解ご協力をいただきますよう重ねてお願いいたします。

さて5月末には、たすけあい組織「ちひろえ」の総会が開催されました。初年度の活動実績は2件と部分



的ではありますが、元気応援事業のプレゼンテーションで高い評価を受けたこともあり、いろいろ反響があり、情報提供の依頼も受けております。

この活動につきましては将来的に必要なものになると考えますが、当面はゆっくりと利用者が増えていくものと考えております。一方、協力会員に登録された方は30数名あり、地域の共同意識が強いことの証であると思います。単に高齢者にとどまらず応援が必要な方の相談に乗りながら実績を積み上げていければと思います。

今年も台風シーズンとなりましたが、地震を含め風水害への対応が改めて重要になっております。各自治会、自主防災組織と連携しながら協議会としても特別に重要な課題として、避難・防災訓練、放水訓練などの活動を重視して取り組みを進めたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年6月吉日

茅広江住民自治協議会 会長 若山 学



## 役員・部会員の紹介

### ★本部役員★

会長 若山学  
副会長 谷法生、竹上俊也  
書記 古木利明、西村重之  
会計 船谷幸正  
事務局長 片谷慎一  
監事 谷昭男、中道覚  
事務員 竹林伊代子

### ★自治会部会★

部会長 若山学  
副部会長 谷法生、竹上俊也  
部会員 古木利明、船谷幸正  
西村重之

◎年間計画に沿って活動していきます。よろしくお願いいたします。

### ★健康福祉部会★

部会長 廣津輝男  
副部会長 三村進  
書記 鈴木則子  
担当役員 船谷幸正、西村重之  
部会員 谷法生、若山学、  
竹上俊也、小塩美智子、  
鈴木睦子、川口順子、小畑和美、  
西村洋一、阪谷尹子、勝田英子、  
若山尚子、若山照子、三村誠子、  
西村泰子、奥倉京子、川口文香、  
上坂守、久保忠秀、

### ★環境・安全防災部会★

部会長 野呂敏、  
副部会長 岡田和也、  
書記 船谷昭弘、担当役員 竹上俊也  
部会員 鈴木幹也、中村孝司、  
楠木正善、中西寧行、中道覚、  
竹上景太

### ★地域振興部会★

部会長 小塩充、  
副部会長 地主修  
書記 吉岡五十二、  
担当役員 古木利明  
部会員 鈴木貴司、正坂重夫、  
藪 晃、鈴木幸治、世古昇、  
竹林唯介

### ★教育文化部会★

部会長 石神善治  
副部会長 竹上肇  
書記 堀木裕司  
担当役員 谷法生  
部会員 家城民子、藪悦子、  
鈴木則子、竹上仁、古木聡子、  
藪芳春、西村善三、阪谷静香、  
澤田千賀子、藤原寿子、  
青木精一、廣津智之、  
竹上陽子、竹上昌美

## 自治会部会



昨年「住民自治協議会」の発足に伴い、「自治会部会」が結成され、3自治会に特化した課題への対応及び自治会相互の連携の場として位置付けております。月々の「まちづくり会議」において大半の課題は話し合いがされておりますが、必要に応じて開催しております。防災対策への対応などは、自治会相互の連携と情報の共有が重要であり、関連する活動を充実させていきたいと考えております。

## 健康福祉部会



今年度の活動を紹介させていただきます。5月19日（木）健康ウォーキングを1年ぶりに実施



しました。16名の参加があり、私も初めて参加しましたが、途中、休憩をした堰堤の所が、昔桜のトンネルだった事が懐かしく思い出しました。

ウォーキングの様子はケーブルテレビや夕刊三重でも紹介されました。楽しい一日を過ごせました。もう1回、2月にも実施する予定です。

5月28日（土）には要配慮者の方への食事サービスを実施しました。楽しみに待っていただいている方がいたり、個人的には、久しぶりにお顔を拝見し元気な姿に嬉しくなったりしました。今後、11月、2月にも実施する予定です。



6月4日のグラウンドゴルフ大会、天候にも恵まれ小学生から年配の方まで、33名の参加があり楽しい一日でした。10月に第2回を実施する予定です。次回にはぜひ、皆様の参加をお待ちしています。



今後の予定としては、

- ・年2回の花の慰問活動（12月実施予定）

- ・在宅介護者のつどい（7月実施予定）
  - ・高齢者の交流の場であるひまわり会の活動（8月と12月に実施予定）
  - ・敬老者へ紅白まんじゅうの配布（9月実施予定）
  - ・最近、コロナで実施できていない市民体育祭（10月実施予定）
  - ・ふれあいウォーキング大会（1月実施予定）
- など、計画しています。

まだまだ高止まりの状況の新型コロナウイルスですが、少し減少の兆しもうかがえます。感染防止に注意している様々な活動が実施できればと願っています。



本年度もコロナウイルス感染防止対策との闘いです。参加していただく皆様の安全を考え、昨年と同じ計画になりますが、中止することなくすべて実施したい思いです。

## 環境・安全防災部会



ササユリの保護活動、ホタルの調査、花いっぱい運動、水質検査、教育文化部との合同で川遊びアンドン生き物調査、環境美化活動の日に炊き出し訓練、三地区の防火訓練等をおこないます。

皆様にお知らせする間もなくササユリ調査が5月29日、本部役員を含め11名で実施しました。下茅原神社周辺は今年もたくさんのつぼみや開花している花、来年にむけての赤ちゃん

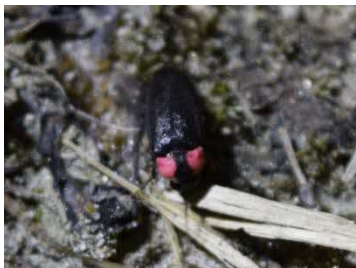


ゆり等、とても良好な状況が維持されているようです。神社周辺の観察後、コロナ対策として三地区に分かれて独自調査をしました。ササユリの管理は雑草との戦いで、春から種子の実る12月のころまでは草刈りは行わずササユリを増やすためにゆりの種が落ちてから草刈りをしていただくとても良好な環境が維持されます。管理をしていただく地区ボランティアの皆様ありがとうございます。今年も三地区、同じ場所でササユリが確認されました。私たちが調査した所で屋敷裏の山の斜面に7本のゆり、その中に5つのつぼみをつけ

たゆりが2本あり、とても感動しました。また、他の場所で4つもの花をもつ1本が折れていました。今年はササコリの保護のため、下茅原、広瀬地区に保護のための看板を立てます。

ホタル調査でも三地区に分かれ調査をしました。

夜少し涼しく感じましたが、六呂木川と小川が合流するところは、数えきれないホタルが飛んでいました。また各川の上流でもそれ以上のホタルが夜空を飛んでいました。調査後も何回か同じ場所を訪れましたが、毎回ホタルの数が増えているようです。各地区調査は涼しかったのかあまり多くのホタルは確認されなかったです。ホタルは餌となるカワニナがないと繁殖しません。いつまでも環境が守られるよう頑張りましょう。



コロナも少し落ち着いてきているようなので、次の行事「川遊びアンド生き物調査」を実施することを計画しています。皆様のご協力をお願いいたします。

## 地域振興部会



地域振興部会では、園芸教室、広報誌発行、サツマイモ作り、ふれあいまつり作品展示会、夏祭り協賛事業等を計画しています。コロナ禍のなか、なかなか思うようにはいきませんが、部会員や地域の皆様方と協力して、活動を進めていきたいと思ひます。

サツマイモ植え付けは、6月5日(日)に、皆様、協力のもとに植え付け完了しました。昨年度は、沢山のサツマイモが、収穫出来ましたが、本年度も昨年



同様の収穫ができればと、考えています。尚、サツマイモ植え付けに際し、土地の所有者の方には、トラクター作業、植え付け作業に、ご協力頂き有難うございました。サツマイモ堀り体験では、今年も園児たちの、楽しい笑顔が、見られるのを楽しみにしています。

6月29日には、園芸教室をおこないません。JA みえなかの永田さんを講師として、秋冬野菜の栽培について学びます。園芸教室は、2月にも実施予定しています。



11月20日には、ふれあいまつりを予定していますが、ここ2年間コロナウイルス感染予防の観点から実施されず、公民館作品展示のみ実施しました。今年は実施できるといいと思ひます。

## 教育文化部会



今年に入って、新型コロナ感染が三年目を迎え、そして世界では何よりも戦争が始まって3か月が経ちました。「今の時代に戦争？」戦争はやってはいけない、戦後70年が経って戦争を知らない子どもどころか、戦争を知らない大人たちもいます。教育文化部会では、社会の現状を見ながら、コロナのこと、戦争のこと、今年の活動の一部で何かを訴えていきたいと思ひます。きっと何かができると思ひます。

さて今年の活動ですが、環境・安全防災部会との「川遊びアンド生き物調査」ですが、櫛田川の水質悪化のために水泳はできませんが、生き物調査は3年越しの思いとして、今年はぜひ実施したいと思ひます。コロナの関係で、今年もいろいろな活動が中止になる事もあると思ひます。

趣味講座として、小筆・ボールペン教室、読書会、写真教室、ちひろえレストランがあります。趣味クラブはもっと色々あってもいいと思ひます。今、流行りの将棋とか、カラオケも復活していいと思ひます。いつでも、誰でも入会できます。皆様の参加をお待ちしています。



今後の計画としまして、各種料理教室、映画鑑賞会、保育園との交流、教養講座、音楽鑑賞会、健康講座、ほかにもふれあいまつりに作品出品等をしていきます。地域の皆様のご協力と参加を心よりお待ちしております。

### 13 皇大神宮常夜灯

場所 上茅原玉泉  
時代 文政13(1830)

一番下の台石に右横書で「上茅原田村」の刻字が見える。以前は、県道射和大石線の支線の上茅原から六呂木にぬける三叉路にあったものを、昭和42年11月に現在の位置へ移築されたものである。



も昔、難所であった。渡し舟はどっしりとしていて、自転車も共に乗せて渡った。しかし川水が増水すると、舟止めとなってしまふ。車が多くなって、橋が架けられたので舟の難所も解消された。

### 16 舟場道標

場所 下茅原  
時代 天保14(1843)

道標「右さんぐう、左まつさか道」は舟場の上に立っていたが、伊勢湾台風で倒れ、一時は下茅原公民館に移されたが、また、この舟場に戻された。接待所は、参宮者のために設置、旅人の足を休めたが、今は石碑が残るだけです。参宮街道の中で常夜灯は多くみられるが、接待所はあまり聞かない。



### 14 上茅原神社狛犬

場所 上茅原  
時代 不詳

上茅原神社の本殿への登り口には、一对の狛犬がる。狛犬は高麗犬、胡麻犬とも書かれる。勇ましい表情でじっと佇む狛犬は、邪気を祓い、神前を守護する意味を持っている。その姿は犬というより立派なタテガミを生やしたライオンのようなのであるが、正確には狛犬は架空の動物、霊獣とされている。一般的に、拝殿に向かって右側に口を開けている「阿(あ)形」、左側に口を閉じている「吽(うん)形」が構えている。これが



対になって「阿吽(あうん)」となる。この「阿吽」とは、もともとインドのサンスクリット語の最初の音「あ」と最後の音「うん」



を表しており、「宇宙の最初と最後」を意味していると言われている。

### 17 永正寺の六字銘号碑

場所 広瀬  
時代 江戸時代

天阿上人は六字銘号碑を櫛田川筋に18か所建立されたとの記録がある。先に述べた下茅原の舟場、御麻生園、庄、阿波曾、丹生で確認されている。永正寺のこの碑もその一つである。また、掛軸、書画、彫刻など貴重な遺物が、永正寺、西導寺、帰命寺の他、旧家に所蔵されている。



### 15 舟場六字銘号碑

場所 下茅原  
時代 江戸時代

津留の渡し舟は古くから参宮街道の中で有名であった。「お伊勢参りして、こわいところ、どこか、飼坂、櫃坂、鞍取坂、つるの渡ししか、宮川か」と民謡にうたわれた櫛田川下茅原から津留の渡し舟。茅原側すぐ上に六字銘号碑「南無阿弥陀仏」が立っている。この地の僧、天阿上人の建立である。この六字銘号碑の立っている所は方々にあるが、いずれ



### 18 番屋の辻

場所 広瀬  
時代 永禄年間

広瀬の中世古道を下りたポンプ小屋の四つ辻を「ばやんの辻」と言う。この辻では、ばあさん連中が孫の守りをしながら日向ぼっこをしているのをよく見かける。それで「ばやんの辻」と言うのだそうだ。これは400年ほど前の永禄年間、伊勢の国司、北畠具教卿の老臣、久保三河守が広瀬を治めていたころ、ここに番屋があって、これがのちのち「ばんや」が「ばやん」に変わったとのことだそうです。

